

(1) 鉄砲の伝来

中国の**倭寇**が**種子島** (鹿児島県) に漂着 (1543)

ポルトガル人が乗船 → 日本に**鉄砲**の伝来

戦国大名は鉄砲に注目、各地に鉄砲を伝来、刀金段の**鉄砲**を造る

→ **堺** (大阪府) や **国友** (滋賀県) などで

鉄砲伝来の「戦い方、武具、城の造り方」を、**全国統一の動きが加速**

(2) キリシタン教の伝来と伝利

フランシスコ・ザビエル (ポルトガル) 宣教師、1549年東南アジアに伝来

ポルトガルを伝来 (1549)

鹿児島, **平戸** (長崎県), **山口**, **京都**, **豊後府内** (大分県) に伝来

天皇、將軍、領主に伝来、お茶の儀を伝来

→ 教の伝来は宣教師の伝来

教会、学校、病院、孤児院などを建設 (長崎, 豊後 (大分), 京都)

民間にキリシタン教が伝来 (キリシタン宣教師 (ポルトガル) の伝来 (16世紀初め))

(3) 南蛮貿易とキリシタン大名

① **南蛮貿易** — **ポルトガル** と **スペイン** の貿易 ← 南蛮 (ポルトガル) や **スペイン** (南蛮) と呼ぶ

日本の輸入品 — **生糸**, **絹織物** (絹織物) (絹織物)

— **砂糖** (東南アジアからの輸入品)

— **香料** (東南アジアからの輸入品)

— **鉄砲**, **火薬**, **ガラス製品**, **時計** (ポルトガル)

— **絹織物** (大量に持ち出された)

ポルトガル船 — **布** などを許可し、**港** に停泊

→ **ポルトガル** 大名 (ポルトガル) は、**大名** が現れる (貿易の利益に着目して) 戦国大名 (大名)

* **大名** 大名 (大名) — **肥前** (長崎県) 大名 — **キリシタン** 大名 **長崎** を **キリシタン** に **存在**

南蛮貿易の中心地 — **長崎**, **平戸**, **豊後府内**

② **天下統一の保障** (1582年)

大坂の陣 (豊後 (長崎) のキリシタン大名) **ポルトガル** のキリシタン大名 **小島** を **キリシタン**

→ **ポルトガル** 大名の **派** 派を **派**

(1) 織田信長の統一事業

① **織田信長** (エナリ) (豊後国) 戦国大名の天下統一

1560年 **ポルトガル** の **ポルトガル** (豊後国) — **今川** 義元 (豊後) (豊後国) 戦国大名を **破**

1568年 **足利** 義昭 (豊後) 討つ **京都** の **幕府** (豊後) を **破**

1573年 **足利** 義昭 (豊後) 討つ **京都** の **幕府** (豊後) を **破**

1575年 **長篠** の **戦い** (三河) (豊後) — **武田** 勝頼 (甲斐) (山梨県) 戦国大名を **破**

1576年 (長篠の戦いの翌年) ~ **安土城** (大津) 平戸 築つて **幕** (近江 (滋賀県))

1582年 **本能寺** の **変** (山城 (京都府)) — **家臣** の **明智** 光秀 (近江) 本能寺で **自**

② 織田信長の他の政策

→ **仏教** 勢力の対抗 — 敵対勢力の力を弱くする (比叡山延暦寺, 一向一揆 破)

→ **経済的発展策** — 各産業の自由な活動を行わせる

→ **幕府** 破 — **幕府** 破を **免除** し **幕** (特権) を **廃止**

→ **附所** を **廃止** — **通行料** を **取** 取り **幕** の **士** 士 **幕** 破



B (安土・境川) 運賃

A 長篠の戦い (山梨県) 戦国大名

D (本能寺) (1572年) (部分要約)

安土城下の町中に対する定め
この安土の町は幕府としたので、いろいろな定めは禁止し、さまざまな定めは免除する。
街道を行き来する商人は中山道を素通りせず、この町に寄るようになせよ。



長篠の戦い (山梨県) 戦国大名

12) 豊臣秀吉の全国統一

① 豊臣 (羽生) 秀吉 一統事業

1582年 明智光秀 を討つ → 織田信長の後継者争いに勝利

1583年 大坂城 (豊臣秀吉の本拠地) の築城開始

1585年 天皇の「關白」に任命される → 全国に徳政を命じる
(関白を辞した後「太閤」と呼ばれる)

1586年 豊臣姓を所与される

1587年 「九州の島津氏を降伏させる」 (停戦命令は従わなかった 島津重豪)

1588年 九州の九州を統一

1590年 北条氏 (関東の戦国大名) を降伏させる → 全国統一が完成

* 安土・桃山時代 一織田信長と豊臣秀吉の時代 (これ以外の城に立ちむ呼ばれ)

② 豊臣秀吉の財政基礎 「桃山」に現在の 京都 市南部の地名、豊臣秀吉が城を築いた

③ 領地 - 200万石

・ 経済的に重要な都市を直接支配 → 大坂, 京都, 堺, 神戸
・ 各地の金山, 銀山 を直接支配 → 統一の 資金源 を進行

(3) 宣教師の進出

・ 織田信長 - 仏教勢力の撤去に反対, キリスト教 は 保護
・ 豊臣秀吉 - 「バテレン追放令」を出さ (九州に限定) (1597年)

↑ 長崎 が エズラ 全 13 箇所を指定し、日本が「神国」とある
↓ 212 宣教師 の 国外追放 を命じる
(キリスト教を教える人々) や ホルムスビア の 貿易と通商の自由を危険視して)

* 「バテレン追放令」は 南蛮貿易 を 禁止せず
↑ キリスト教と強固な結びつきがある → 政策は 不平等
↓ 一部の宣教師は日本にとどまる

因 女農分離と秀吉の対外政策

(1) 大規模検地と刀狩

① 大規模検地

・ 検地 1 町 100 石 (1町 = 100町)

・ 田畑 の 面積 や 土壌の肥沃度 (繁栄) を 調べる

・ 理想 の 収穫量 を 高く (米の収穫) (1石) は 15kg) として 表示

・ 領地の土地 - 石高 (統一の基礎) 1町 100石

・ 実態に 耕作している 百姓 (検地) は 登録と異なる

↓ 石高 - 土地を耕作する権利の保障, 年貢 (石高に基づく) の納入が義務となる

・ 武士 - 領地 (石高) を表示する → 軍役 (石高に依り) を 課せらる

* 荘園領主 (公家や寺社) - 権, 土地, 土地 に対する 権利 を 失う

② 刀狩

・ 刀狩令を出す (1598) - 百姓や寺社 刀狩 (刀, 弓, やり, 鉄砲, 砲) を 取り上げ (一揆を防ぐため)

* 大規模検地, 刀狩 → 兵農分離 (武士と農民の身分区別を明確にする) (近世社会の仕組み) (武士, 百姓, 野人の身分文化に反映) (注: 近世社会の仕組み)

(2) 朝鮮侵略 対外政策 - 外交政策 - 外交政策 - 外交政策

① 豊臣秀吉の対外政策 - 外交政策 - 外交政策 - 外交政策

・ 高人の東南アジアへの海航を許可する

・ 海賊 (倭寇) を取り締まる に出す (貿易の安全を図る)

・ 朝鮮・高山国 (台湾) ・ルソン (フィリピン) への手紙を送る (服属を求め)

② 朝鮮侵略

・ 明の征服を目指し、軍を朝鮮へ派遣 (7年にわたる戦い) 戦況と2名の諸将の戦況

・ 文禄の役 (1592) (文禄元年 1592)

↑ 日本軍 15万人を朝鮮に派遣 → 日本軍は朝鮮の首都の漢城 (ソウル) を占領し、朝鮮北部に進む

↓ 朝鮮に 明 の 援軍 兵隊 日本軍 艦隊 船 兵 出動

・ 朝鮮の民衆 が 日本軍 に 抵抗 して、日本軍は 海軍に 敗退し、日本軍は 海軍に 敗退し、日本軍は 海軍に 敗退し

* 龜甲嶺 - 李舜臣の率、日本軍は 海軍に 敗退し、日本軍は 海軍に 敗退し

・ 明との 講和交渉 (明の使節が 来日) → 講和が 成り立たず

・ 慶長の役 (1597) (慶長2年 ~ 1598 年) 日本軍は 海軍に 敗退し、日本軍は 海軍に 敗退し

↓ 朝鮮 - 戦場は 荒廃 日本に 進行 する者が いた

・ 日本 - 武士や農民が 重く 負担に苦しむ、大分は 打ち切られた → 豊臣氏 没落の原因

・ 兵士は 各々に 進行 して 陶工 技術を 習得し、朝鮮に 渡り 陶器を 輸出した

